

槌音

桶川市立桶川中学校
学校だより
第9号
令和8年1月8日発行

パワフルな年

校長 小高 剛

新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。

令和8年の干支である「丙午（ひのえうま）」について調べてみました。これは十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」の組み合わせです。「丙」は大地から芽が出て葉が広がった状態を、馬を表す「午」はスピード感や行動力、勢いや力強さを意味します。また、陰陽五行説で“火の陽”に当たる「丙」は万物を成長させる太陽や火がもつ強いエネルギーの象徴で、太陽が南中する正午を指す「午」は勢いや運気が最高潮に達している状態を表しているそうです。Mrs. GREEN APPLE の若井滉斗さんは新年の挨拶の中で、丙午は「情熱とエネルギーが最高潮に達し、大きな飛躍や発展のチャンスが訪れるパワフルな年」と表現していました。ワクワクした1年になりそうです。

ちなみに、前回の丙午は1966（昭和41）年。ある迷信のせいと言われますが、出生数が前年より2.5%も少なかったそうです。一方、日本の総人口は1億人を突破、日本人の海外観光渡航回数制限の撤廃、当時人気絶頂のザ・ビートルズの来日、カラーテレビ放送網の完成など、「いざなぎ景気」といわれる高度経済成長期が本格化した年でした。

それから60年。人や物や情報が国境を越えて行き交い、生成AIなど技術革新が急速に進む令和の丙午。昭和の丙午のように、「パワフルな年」となるよう願っています。

さて、3学期の授業日数は1・2年生が52日、3年生が44日です。短い期間ですが、1年間または中学校3年間、或いは義務教育9年間の総まとめであると同時に、次年度に向けた準備期間でもあり、どの学年にとっても重要な学期です。そこで、始業式では次のような話をしました。

やらなければならないのにやる気が出ないという人は少なくないでしょう。私にもよくあることです。しかし、やる気は自分で出すものであって、どこかから湧き出てくるものではありません。「やる気が出ないなあ」ではなく、やる気があってもなくても、やるべきことはやるのです。やりたくないことをやる気のせいにするのは言い訳であり、自分をごまかしているだけです。

詩人・書家であった相田みつをさんは「エンジン」という短い詩で次のように言っています。

『あのねえ 自分に エンジンを かけるのは 自分自身だ からね 』

今風に言えば、やる気スイッチを押すのは自分自身ということでしょうか。やる気スイッチは自分がやらなければ出てこないし、それを押せるのは自分だけ。学習でも部活動でも日々の取組でも、その都度必要なスイッチを自分で押して、力を蓄える3学期にしてください。

パワフルな年、丙午。新しいことに挑戦して飛躍できるよう、また、特に3年生には、これまでの努力の積み重ねが実を結ぶよう期待しています。